

都城工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	建築製図
科目基礎情報					
科目番号	0039	科目区分	専門 / 必修		
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	建築学科	対象学年	3		
開設期	通年	週時間数	2		
教科書/教材	木造の詳細 3住宅設計編 彰国社ISBN4-395-11003-7 C3052、その他必要に応じてプリントを配布				
担当教員	中村 裕文				
到達目標					
1) CADを利用して図形の作図・編集を行うことができる。 2) CADの機能を理解して使いこなし建築図面の製図ができる。 3) 木造住宅の構造を理解して図面を読み解くことができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安 A	標準的な到達レベルの目安 B	未到達レベルの目安 C	(学生記入欄) 到達したレベルに○をすること。	
評価項目1	課題の図、寸法、注記の記入をほぼ完成する。 線種のかき分けを行う。 文字のサイズ、全体のバランスを整える	課題の図および寸法、注記の記入をほぼ完成する。 線種のかき分けを適切に行う。	課題の図を途中まで完成できる	A ・ B ・ C	
評価項目2	課題の図面を適切なレイヤ分けを行い完成する。 完成した図面のレイヤの表示・非表示を適切に調整する。	課題の図面を適切なレイヤ分けをおこない完成する。	課題の図面をレイヤ分けをしていないCADファイルとして完成できる。	A ・ B ・ C	
評価項目3	木造の住宅を構成する部材を記した各図面の関係を把握する。部材相互の関係から明記されていない寸法を把握する。	木造の住宅を構成する部材を記した各図面の関係を把握する。	木造の住宅図面に記載されている部材名称を大まかに把握できる。	A ・ B ・ C	
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 2-2 学習・教育到達度目標 2-4					
教育方法等					
概要	コンピュータを利用した建築製図技能の習得。 CADによる製図の基本的な概念の学習。建築製図でのCADの利用技術の習得。 木造建築図面の模写を通しての木造建築製図技法の習得。木造建築の部材名称・構造の学習。				
授業の進め方・方法	学内のネットワーク上で利用可能なCADアプリケーションの個人所有PCへのインストールおよび学生用半年度版CADの購入を希望する場合は担当教員まで連絡すること。				
注意点	図学および情報基礎の理解をしておくこと				
ポートフォリオ					

(学生記入欄)

【理解の度合】理解の度合について記入してください。

(記入例) ファラデーの法則、交流の発生についてはほぼ理解できたが、渦電流についてはあまり理解できなかった。

- ・前期中間試験まで :
- ・前期末試験まで :
- ・後期中間試験まで :
- ・学年末試験まで :

【試験の結果】定期試験の点数を記入し、試験全体の総評をしてください。

(記入例) ファラデーの法則に関する基礎問題はできたが、応用問題が解けず、理解不足だった。

- ・前期中間試験 点数 : 総評 :
- ・前期末試験 点数 : 総評 :
- ・後期中間試験 点数 : 総評 :
- ・学年末試験 点数 : 総評 :

【総合到達度】「到達目標」どおりに達成することができたかどうか、記入してください。

- ・総合評価の点数 : 総評 :

(教員記入欄)

【授業計画の説明】実施状況を記入してください。

【授業の実施状況】実施状況を記入してください。

- ・前期中間試験まで :
- ・前期末試験まで :
- ・後期中間試験まで :
- ・学年末試験まで :

【評価の実施状況】総合評価を出した後に記入してください。

授業の属性・履修上の区分

アクティブラーニング
 ICT 利用
 遠隔授業対応
 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	演習概要 CADの基本的な使用方法	演習の概要を理解する CADの基本的な使用方法を理解する。
		2週	CADの基本的な使用方法	基本的な描画コマンド、レイヤ、複製等の編集コマンドについて理解する。
		3週	CADの基本的な使用方法	寸法、縮尺、配置などの機能について理解する。
		4週	CADの基本的な使用方法	課題をもとにCAD全般の製図機能を理解する
		5週	CADの基本的な使用方法	課題をもとにCAD全般の製図機能を理解する
		6週	第1課題	第1課題に取り組む
		7週	第1課題	第1課題に取り組む
		8週	第1課題	第1課題に取り組む
	2ndQ	9週	第1課題	第1課題に取り組む
		10週	第1課題	第1課題に取り組む
		11週	第1課題	第1課題に取り組む
		12週	第1課題	第1課題に取り組む
		13週	第1課題提出	第1課題を提出する
		14週	第2課題	第2課題に取り組む
		15週	第2課題	第2課題に取り組む
		16週	第2課題	第2課題に取り組む
後期	3rdQ	1週	第2課題	第2課題に取り組む
		2週	第2課題	第2課題に取り組む
		3週	第2課題	第2課題に取り組む
		4週	第2課題	第2課題に取り組む
		5週	第2課題提出	第2課題を提出する
		6週	第3課題	第3課題に取り組む
		7週	第3課題	第3課題に取り組む
		8週	第3課題	第3課題に取り組む
	4thQ	9週	第3課題	第3課題に取り組む
		10週	第3課題	第3課題に取り組む
		11週	第3課題	第3課題に取り組む

		12週	第3課題	第3課題に取り組む
		13週	第3課題	第3課題に取り組む
		14週	第3課題	第3課題に取り組む
		15週	第3課題提出	第3課題提出
		16週	図面ファイルの提出, ポートフォリオ記入	ポートフォリオの記入

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	設計・製図	線の描き分け(3種類程度)ができる。	4	前5
				文字・寸法の記入を理解し、実践できる。	4	前5
				建築の各種図面の意味を理解し、描けること。	4	後15
				図面の種類別の各種図の配置を理解している。	4	後15
				図面の尺度・縮尺について理解し、図面の作図に反映できる。	4	後15
				ソフトウェアを用い、各種建築図面を作成できる。	4	前5
				建築の構成要素(形と空間の構成)について説明できる。	1	
				建築における形態(ものの形)について説明できる。	1	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	制作物	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	60	60
専門的能力	0	0	0	0	0	20	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	20	20